

令和4年度 第1回 ナザレ園定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所
介護・医療連携推進会議 次第

日時 令和4年11月25日(金) 14:00より
場所 ナザレ園事務センター会議室

1、 開 会

2、 議 題

- ① 決算報告
- ② 事業報告
- ③ 質疑・ご意見
- ④ 次回開催日時について

令和4年度 第2回 月 日 () 開催予定

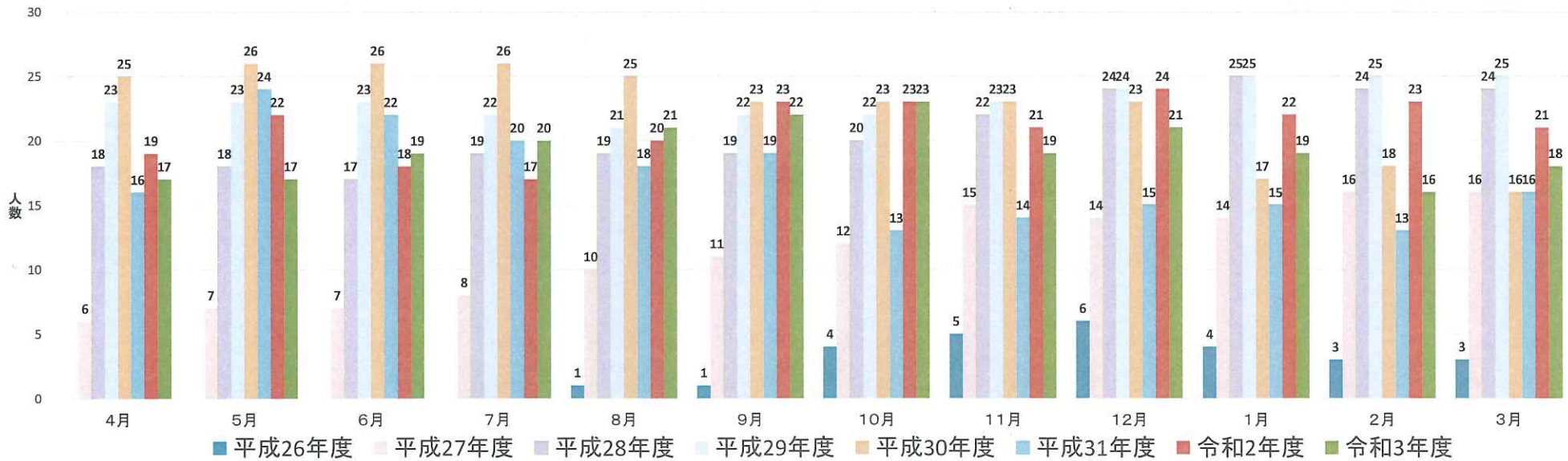
3、 閉 会

令和3年度 事業活動明細書

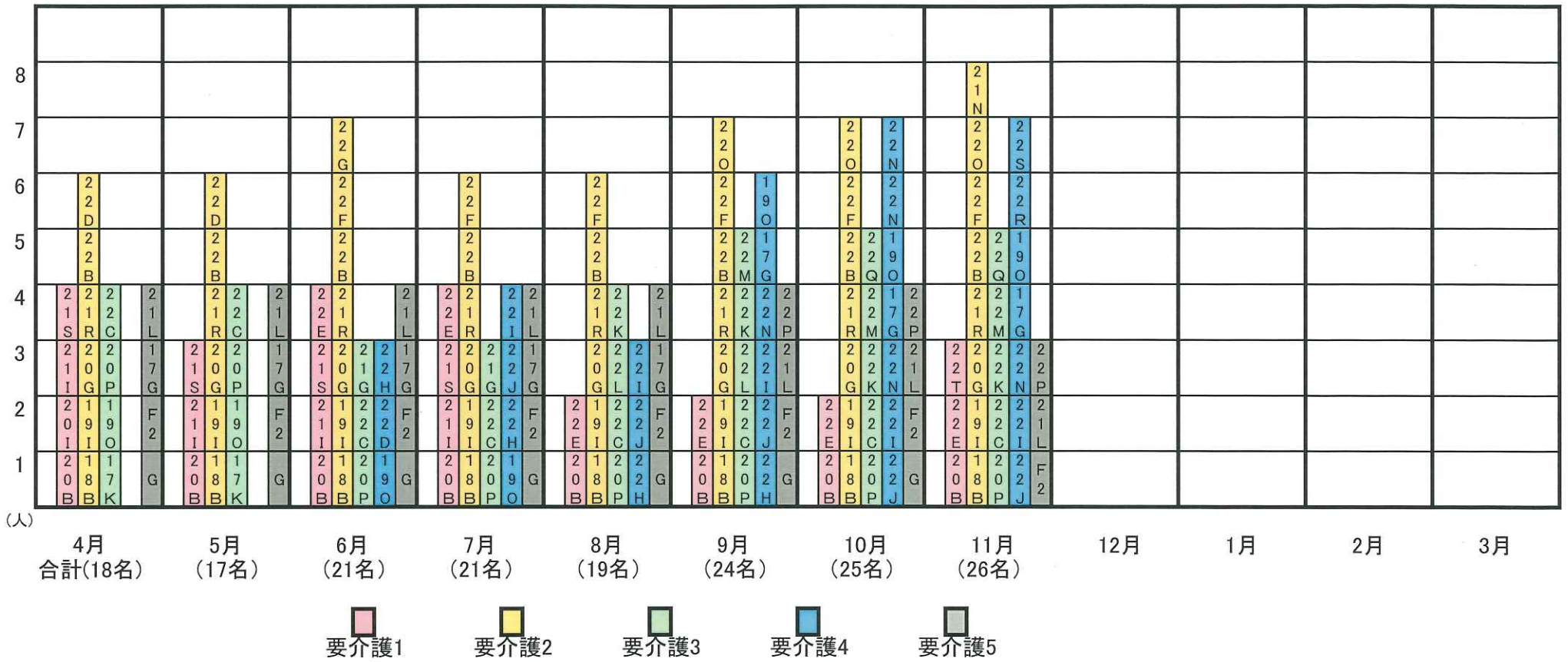
| 勘定科目 | | 金額 |
|------|---------------------|------------|
| 収益 | 介護報酬収益 | 39,337,315 |
| | 利用者負担金 | 4,727,036 |
| | 収益計(1) | 44,064,351 |
| 費用 | 人件費 | 30,954,877 |
| | 事業費 | 1,017,486 |
| | 事務費 | 3,387,402 |
| | 減価償却費 | 444,968 |
| | 費用計(2) | 35,804,733 |
| | 経常増減差額(3) = (1)-(2) | 8,259,618 |

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 会計資料

| | 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 利用者数 | 平成26年度 | | | | | 1 | 1 | 4 | 5 | 6 | 4 | 3 | 3 |
| | 平成27年度 | 6 | 7 | 7 | 8 | 10 | 11 | 12 | 15 | 14 | 14 | 16 | 16 |
| | 平成28年度 | 18 | 18 | 17 | 19 | 19 | 19 | 20 | 22 | 24 | 25 | 24 | 24 |
| | 平成29年度 | 23 | 23 | 23 | 22 | 21 | 22 | 22 | 23 | 24 | 25 | 25 | 25 |
| | 平成30年度 | 25 | 26 | 26 | 26 | 25 | 23 | 23 | 23 | 23 | 17 | 18 | 16 |
| | 平成31年度 | 16 | 24 | 22 | 20 | 18 | 19 | 13 | 14 | 15 | 15 | 13 | 16 |
| | 令和2年度 | 19 | 22 | 18 | 17 | 20 | 23 | 23 | 21 | 24 | 22 | 23 | 21 |
| | 令和3年度 | 17 | 17 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 19 | 21 | 19 | 16 | 18 |



令和4年度 介護度別・月別利用人数



20I・要介護1

4/12(火)夜間訪問中に玄関で倒れており、呂律が回らない状況で、左前頭部痛みの訴えがありました。救急車にて、日立聖麗メモリアル病院へ搬送されました。脳梗塞の診断にてすぐにカテーテル手術となりました。手術後の経過は良好でしたが、急変しお亡くなりになりました。

22D・要介護2

癌と診断された利用者様で、デイサービスやショートステイを利用されながら、自宅での生活は定期巡回を利用しサポートさせていただきました。その後、訪問介護へと移行し入院されました。

17K・要介護5

旦那様のサポートと定期巡回を利用し、自宅で生活されておりました。食事が摂取できず入院となり、お亡くなりになりました。

21G・要介護3

奥様の介護負担のため、ショートステイを利用されています。

22H・要介護4

盲老人ホームで生活されておりましたが、ご家族の希望により他施設へ入所されました。

22G・要介護2

独居でお住まいの方で、夏場熱中症により救急車で搬送され、その後入院となりました。

22L・要介護3

サ高住にお住まいの方で自室で転倒され、骨折により入院後定期巡回利用となりました。御自身でトイレにも行けるようになり、訪問終了となりました。

21I・要介護1

21S・要介護1

ご夫婦でご利用して頂いておりましたが、2人で協力して少しずつ生活できるようになった為、利用終了となりました。

令和3年度 新規受け入れ・終了者（入所・死亡）

| 令和4年 | 利用開始者 | 入所者 | 死亡者 | 終了者 |
|------|-----------------|-----|------|---------|
| 4月 | 22D | | 20 I | |
| 5月 | | | | |
| 6月 | 22E、22F、22G、22H | | | |
| 7月 | 22I、22J | 21G | | 21I、21S |
| | | | | 22D |
| 8月 | 22K、22L | | 17K | |
| 9月 | 22M、22N、22O | 22H | | |
| 〃 | 22P | | | |
| 計 | 13名 | 2名 | 2名 | 3名 |

「利用者様の利用状況説明」

- 20I→R2、4/9利用開始されR4、4/15亡くなる（要介護1）
- 17K→H30、2/15利用開始されR4、8/24亡くなる（要介護5）
- 21G→R3、7/1利用開始され7/15ショート利用へ（要介護3）
- 21I→R3、8/6利用開始されR4、7/31利用終了（要介護1）
- 21S→R3、12/30利用開始されR4、7/31利用終了（要介護1）
- 22H→R4、6/1利用開始され9/4入所（要介護4）
- 22D→R4、4/12利用開始され6/13訪問介護へ（要介護2）
- 22G→R4、6/21利用開始され6/26入院（要介護2）
- 22L→R4、8/8利用開始され9/30にて終了（要介護3）
- 19O→R1、11/15利用開始され7/13入院、9/14退院（要介護4）

17G (介護5) → (介護4) へ

190 (介護3) → (介護4) へ

認定調査にて

体力低下にて

【当法人内での利用者数】 令和4年11月現在

○ナザレ園居宅介護支援事業所からの利用者→16名

○他居宅介護事業所からの利用者→9名

○ナザレ園養護老人ホームの利用者→7名

○盲老人ホームの利用者→5名

【年度別定期巡回利用者人数】

| | 2014~2017 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|--------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 新規利用者数 | 53名 | 12名 | 17名 | 22名 | 23名 | 17名 |
| 前年の継続者 | 2名 | 1名 | 5名 | 12名 | 17名 | |

右図の説明

独居での生活利用者様がコロナの影響によりご家族の支援が難しく定期巡回をご利用される傾向にあります。

今後も積極的に受け入れを行って参ります。

自己評価・外部評価表においては、ナザレ園ホームページ「URLwww.nazareen.or.jp」に掲載しております。

| | |
|----------------------------------|--|
| <p>「車による事故」</p> <p>令和4年4月8日</p> | <p>利用者様宅の駐車場において、駐車する際に後退し過ぎて自宅戸袋へぶつけてしまった。</p> <hr/> <p>対応：戸袋に損傷は無かった。家族へ謝罪し修理等は発生いたしませんでした。</p> |
| <p>「物損による事故」</p> <p>令和4年4月8日</p> | <p>利用者様宅のやかんの笛付き口が取れてしまった。劣化によると思われる。</p> <hr/> <p>対応：別居の娘様へも報告・謝罪とお伝えし、やかんを購入しお届け致しました。</p> |
| <p>令和4年6月24日</p> | <p>介護中、雪見障子にコタツが立て掛けてあった。その上に長座布団があり長座布団を取った際、コタツがガラスに当たりヒビが入ってしまった。</p> <hr/> <p>対応：家族へも謝罪いたしました。家族は修理しなくてよいとの事。処置として強力なテープを購入し、ガラスを補強いたしました。</p> |
| <p>令和4年10月24日</p> | <p>掃除支援の際、室内への段差が大きく、上がる時にバランスを崩しガラスに手を付いてしまった。その際、ガラスにヒビがはいってしまった。</p> <hr/> <p>対応：ご本人に説明し、謝罪いたしました。本人より修理はしなくてよいと言っていたので、強力テープにて補強致しました。</p> |
| <p>「身体的な事故」</p> <p>令和4年9月12日</p> | <p>利用者様が、ポータブルトイレに掛かっていた際、横を通りベッドのシーツ交換をしようとしたところ、利用者様の左足親指を踏んでしまった。爪の部分から血がにじんでいたため、奥様に確認して頂く。傷テープと消毒液を準備してくださいましたので、手当をし様子を観て頂けるようお願い致しました。</p> <hr/> <p>対応：直ぐに家族に報告し確認して頂く。事業所へ戻り事業所長へ報告する。今後の介助方法について話し合い、事故防止のために確認を確実にすることとする。</p> |
| | |